

令和2年9月23日

高根沢町長 加藤 公博 様

高根沢町議会清流会
代表 野中 昭一

高根沢町議会絆の会
代表 齋藤 武男

令和3年度町政運営並びに地域経営計画後期計画策定に向けた
政策・予算提言書

このことについて、下記の政策・予算について提言いたします。

記

① 雨水排水対策

近年のゲリラ豪雨や台風は、毎年過去の記録を塗り替え、全国各地で甚大な災害が発生している。東日本大震災以来、本町では有難いことに暮らしに大きな変化を及ぼす被害は出ていない状況ではあるが、大雨が降る度に町内各地で道路の冠水等が発生している。

この要因として、道路の形状が悪い事や、排水機能が果たされていない排水網、市街化区域での宅地開発などが考えられる。

そこで、本町の課題の一つといっても過言ではない雨水排水に関し、抜本的解決をしていくため、調査を行うとともに、並行して雨水排水処理計画の策定に取り掛かっていただくようお願いいたします。

② 地籍調査

令和元年度までの地籍調査着手率は74%であり、100%となるために、令和17年度を目途に事業を実施していく考えであることは承知している。

しかし、調査が完了した所と未完の所では事実上の格差が生じている。

一例として、調査完了した土地の測量代金は5万円程度であり、調査未完の土地の測量には40万円程度かかる。

こうした現況を踏まえ、事業の早期完了を目指すために、単年度の地籍調査実施面積を最大限まで引き上げるようお願いいたします。

③ 農業振興地域からの除外

本町内における大きな道路整備としては、国道 408 号と都市計画道路の整備が進められている。

2023 年には国道 408 号が国道 4 号に接続開通し、また同年には宝積寺駅西第一土地区画整理事業地内北側道路の町道 350 号線（御幸坂部分）の整備も完了し、国道 4 号とのアクセスが飛躍的に良くなることが予想される。

また、国道 408 号は県道 10 号線（烏山街道）とも交差し、交流人口の増加や物流の足として、生活に欠かせない重要な路線となる。

このことから、本町にとっては大きな転換期となるチャンスが訪れ、経済発展や、地域振興、また今年度リニューアルされた「道の駅たかねざわ 元気あっぷむら」への誘客増加も見込めると考える。

そこで、国道 4 号と県道 10 号線の沿線で農業振興地域に指定されているところの農振除外を県に申請していただくようお願いいたします。

④ 庁舎整備

老朽化が進む現庁舎は、いつ起こるか分からない自然災害に対して持ち堪えられる状況とは言い難い。どんな状況であっても安心できる庁舎であるべきだが、災害時の対策本部として十分な機能を果たせる環境ではないと考えられる。

さらに、現庁舎の立地状況は、西側・南側は斜面であり、万が一の崩落もあり得る。さらに平常時に関しては、駐車場は狭く確定申告時は来庁者に不便をかけることもある。

また、障がいを持つ方に必要なエレベーターがないことや Wi-Fi が整備されていないなど、時代に遅れた庁舎環境であることから、誰しものが来やすく、利用しやすい庁舎が望まれる。

したがって、現在休止している庁舎整備の早期検討再開を切に願うとともに、遅くとも令和 3 年度当初には検討再開及び計画策定をスムーズに進めてくださいますようお願いいたします。